

「ロータリー財団月間について」



今月はロータリー財団月間ということで、お話をさせていただいております。このクラブは、以前にお話させていただいたことがありますが、ちょうど10年間のことであります。それ以来、10何年この仕事をやっておりますので、色々な情報も集まっています。

今日は、フォーラムということで、一方的にお話をするばかりでなく、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」
The Rotary Foundation of Rotary International

ロータリー財団が今一番力を入れているのが、「ポリオ撲滅の運動」です。1950年にスタートした運動です。いよいよ最終段階にきています。皆様、ご存知かわかりませんが、昨年ポリオの撲滅のためにお一人23ドルの寄付をしていただきました。世界に約3万3,000クラブあり、各クラブ1年間に1,000ドルをお願いしていますが、クラブの大きさによって不公平が生まれてしまいます。この地区80クラブでは、最大106名、最小8名でありまして、牧田バスターガバナーはこれを一人当たりと読み替え、一人当たり23ドルをお願いしました。

これ以外に、教育的分野の国際親善奨学生奨学金に対しても力を入れています。これは、世界で一番大きな民間団体の奨学金制度となっています。

■研究グループ交換(G.S.E.)

■補助金のプログラム(マッチング・グラント)

このクラブでは例がないと思いますが、ロータリーのある国とタイアップをして、それぞれお金を出し合っ
て、社会的なプロジェクトを行うことです。

■地区補助金(地区内での事業に対する補助)

年次寄付お一人様年間、100ドルをいただいております。また、1,000ドルの寄付をしていただいた方を「ポールハリスフェロー」として表彰させていただいており、マルチポールハリス…+1、+2、+3…と続いています。

このクラブがスタートしてからこれまでにトータルで「19万8,792ドル」=約2,000万円の寄付を頂いております。また、皆様がどのくらい寄付をしているかを「ロータリーインターナショナルHP」より会員アクセス→会員登録することによって確認する事ができます。

<http://www.rotary.org/ja/Pages/ridefault.aspx>

委員会報告

- ・国際奉仕委員会(長嶋委員長)
タイのエイズ孤児支援の為の募金箱を回しますので、宜しくお願いします。
- ・職業奉仕委員会(曾根田委員長)
中学生ラグビー、花園中学校予選のカップを当クラブより寄贈しました。

出席報告…………… 杉山 貴章 委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	10/23	43名	27名	8名	—	名	77.0%
前 回	10/26	44名	30名	5名	89.0%	(名)	—
本 日	11/ 2	46名	26名	9名	81.0%	(名)	—